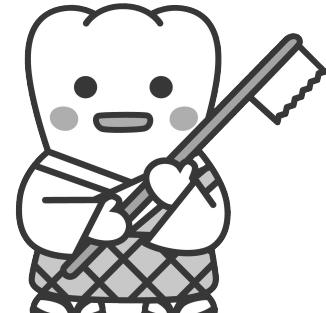


11月8日は いい歯の日



日本歯科医師会 PR キャラクター
「よ坊さん」

広島県歯科医師会ではおよそ20年前から、80歳で20本の歯を維持しようという「8020運動」に取り組んできました。2005年の日本歯科医師会の調査では「8020」の達成率は約25%。現在はこの数値を50%に



広島県歯科医師会会長
山科 透さん

引き上げ、「8020社会」の実現を課題にしています。

目標を達成するためには、一層の普及啓発活動はもちろん、団塊世代を含む中高齢層への歯科医療サービスを行い、歯科疾患の早期発見や予防につなげる必要があります。その一環として、力を入れているの

8
は
ち
ま
る
に
い
ま
る
2020
社会実現へ

が在宅歯科診療です。具体的には、必要な専門知識や技術を持った歯科医師を養成する講習会を昨年から開催し、約100人に認定証を交付。今後は在宅医療連携室を設置し、患者さんからの希望があれば、認定歯科医師を派遣できる環境づくりを進めています。

歯が20本以下になると、十分にそしゃくできなくなるので、口に入れる食物は限定され、低栄養になります。義歯を入れるなどして口腔環境を改善すれば、累積延命率が伸びるのは統計にもはっきり表れています。かむ力は、生きる力です。8020運動を通じて、県民の健康増進に寄与していくたいと考えています。



広島県歯科医師会館

歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/> 広島県歯科医師会 <http://www.hpda.or.jp/> ☎ 082(241)5525